

好学尚武

マネの頑張り！

大観衆のなか行われた県大会の決勝戦で市高2年生マネが「県代表級」の活躍をしました。当日の放送（ウグイス嬢）を管野マネが担当、閉会式・準優勝校のプラカード持ちを佐藤マネが担当しました。（実は各校2名までという形だったのでこうなりましたが、もう1名の2年生マネ・喜多野も本来なら本部入りだったでしょう・・・彼女は準々決勝の放送（ウグイス嬢）を担当しました）

彼女達の活躍・・・こういうことは、どこで誰に観られ評価されているかわからないものです。実は私の所に、さいたま市の選挙担当の方からこんな依頼が来ています。来年4月以降に行われる選挙の区役所広報車や庁内放送及び防災行政無線を通じて市民に投票を呼びかけるためのアナウンス音源を市高野球部マネージャーにお願いしたい・・・というものです。近いうちに収録を行うそうなので、今後の選挙ではこれらの「声」にも注目していただければと思います。

今年の県大会は終了しましたが、市高マネには来年度から本格的に導入予定の「電子スコア」をマスターする、という宿題が与えられたようです。野球部マネージャーを極めてほしいと思います。



写真は決勝の放送を担当した管野マネです。

私が言いたかったこと・・・

2年生が模試だった7日（日）、1年生同士で大宮東高校と試合をしました。下級生同士で試合をした時によく起きる事「オレがオレが状態になり、チームとして戦えない」まさしくそんな1日でした。上手い出来ないことを味わう事も大切なのでほっておきましたが、私が言いたかった事を現・西武ライオンズ・橋上作戦コーチに関する記事でわかっていただければと思います。

橋上コーチがプロで17年間プレーできたのは、恩師である野村克也監督のこんな言葉が大きかった・・・というもの。

野村監督が選手達に一番求めたこと、それは「変化すること」で、「己を知れ」という言葉を一番覚えている。「自分がどういう駒だったら、野球選手として生き残っていけるかをしっかり考えなさい」というもので、その言葉がなかったら、たぶん、みんなと同じような練習しかしてなかった・・・（自分らしさを磨く大切さ）

今年の西武ライオンズは橋上コーチのこのような考えが間違いなく打線に浸透して優勝したと思います。選手1人1人が（攻撃において）自分の長所を遺憾なく発揮しているからです。

今年の市高1年生部員は個性的で、（西武のように）1人1人がその長所を試合で発揮することができれば面白いと思っているんですが・・・

2学期・学校説明会の日程

（部活動も公開しています。ぜひ、野球部の活動をご覧ください。グラウンドでお待ちしています）

10月27日（土）・・・浦和東高校と練習試合
（市高グラウンドで）

11月17日（土）・・・市民大会中のため未定

12月15日（土）・・・市高で練習